

御希望の会員医療機関に アルコール除菌剤を頒布いたします

平素は当会の活動にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。また、大変な状況の中、地域住民に対する第一線医療の提供に、心より敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、医療機関においてもアルコールの確保が困難な状況が続いております。各医療機関におかれましても、苦心しながらのやりくりを余儀なくされていることと思います。協会にも多くの医療機関から問い合わせをいただいておりますことを踏まえ、このたびアルコール除菌剤を準備させていただきました。現在一定数については順次発送できる目途はついておりますが、注文状況によって1~2カ月お時間をいただく場合がございます。御了解の上、必要な方は下記FAXにてご連絡ください。

●商品名:「エコイックα78」・1斗缶 18ℓ

アルコール除菌剤【食品添加物エタノール製剤(高濃度アルコール78%)】
日本薬局方消毒用エタノール 76.9~81.4vol%と同等濃度、同一原料で製造

●価格:15,000円(税・送料別)

※今回500缶確保しております。先着順ですのでお早めにお申し込みください。

【アルコール除菌剤 注文FAX:078-393-1802】

兵庫県保険医協会 事務局宛

<input type="checkbox"/> 1斗缶18ℓ申し込みます	
医療機関名	会員氏名
住所:〒 ー	(担当者氏名)
TEL	FAX

※代金は、先生方の会費口座から引き落とさせていただきます

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

411号

2020年7月5日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

すべての難病患者を医療費助成の対象に

議会請願「継続審議」に



5月の健康福祉委員会で「継続審議」とされ、7月に再度審議される予定

協会尼崎支部が、尼崎市議会に対して提出している「指定難病医療費助成制度で『軽症』とされた難病患者を助成対象に戻すため国への意見書提出を求める」請願が「継続審議」となっている。支部は2019年11月から議会各会派へ要請を行い、2月の健康福祉委員会、続く5月の委員会でも「継続審議」となっており、7月議会での採択を目指し働きかけを強めている。

2014年5月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法)が成立し、2015年1月から新たな指定難病医療費助成制度が施行され、「重症度基準」による選別が行われるようになった。

これにより難病と認定された患者であっても、この重症度基準によって「軽症」と認定されれば医療費助成の対象外とされるようになり、厚生労働省の研究班の調査によると不

認定患者等の通院頻度が減少していることが明らかになった。

全国で約14.6万人に上る不認定患者がいることを受け、支部では市議会へ前述の請願書を提出し、「軽症」患者を含むすべての難病患者を助成の対象とするよう国への意見書提出を求めた(緑のかけはしの都築徳昭市議、日本共産党議員団の松澤千鶴市議が紹介議員)。

(次のページに続く)

(前のページより)

5月の委員会では「重症度の選別をやめて全てを対象にする」という考えは賛同できる」「請願の趣旨はもっともだ。国の審議が再開するため、一定の意見を挙げておく必要がある」といった意見が出され「緑のかけはし」と共産党が採択を求めたが、「実現可能な内容とするには議論が必要なため、今回は決をとるのは難しい」などの意見から「継続審議」となった。7月議会で再度審議される予定。

難病法は施行後5年以内を目途に見直しに向けた検討を行うことになっており、現在、厚労省の難病対策委員会で見直しの議論が進められているが、現時点で「重症度基準」の見直しについては議論が行われていない。2月末に開催を予定していた政府の難病対策委員会は新型コロナウイルスの影響で中止となっている。

今回の請願は県下各支部で取り組まれ、これまでに明石市・小野市・加東市・川西市・豊岡市・宝塚市および猪名川町の6市1町議会で採択され、加古川市と高砂市では趣旨採

請願文書表	
請願番号	第1号
受理年月日	令和2年2月4日
請願者	特定難病医療費助成制度の拡充についての請願
請願者の住所	神戸市中央区南長町3-2-21
及び氏名	兵庫保険医協会 理事長 西山 隆博
【請願の要旨】	平成26年5月に難病の患者に対する医療等に関する法律(以下「難病法」という)が成立し、平成27年1月から新たな特定難病医療費助成制度が施行された。これにより重症度基準による選別が行われるようになり、難病と認定された患者であっても、この重症度基準によって医療費が認められず全額自己負担の負担を負うことになった。 平成29年12月23日の閣議審議終了に伴い、難病医療費助成を受けられなくなった特定難病患者は合計1,849人、介護認定を受ける認定者も、平成29年12月30日、特定難病患者の人数(1人)によっており、その影響については大きく報道された。 また、特定難病患者の難病医療費の給付の定額制に関する研究報告が提出された。報告書は、給付率の削減の前提で、特定難病患者の過半数(半半の平均)が、加齢から57歳以降に減少していることが明らかになった。患者数からは、受給制限による重症化のリスクが上がる。さらに、軽症者の増加になると、重症患者の受給抑制のリスクも高くなる。また、軽症者の増加により、重症患者の受給抑制のリスクも高くなる。また、軽症者の増加により、重症患者の受給抑制のリスクも高くなる。 全ての患者は早期発見・早期治療が重要であるが、軽症者は一旦軽化するに従って重症化する。合併症の増進リスクや認知症リスクが、軽症者の特性を持つ。また、早期発見から早期治療によるリスクを軽減することは重要である。軽症者を重症化のリスクの対象とすれば、重症者の重症化リスクも高くなる。 難病法は施行後5年以内を目途に見直しに向けた検討を行うことになっており、現在、厚労省の難病対策委員会やワーキンググループにおいて議論が行われているが、患者団体等からの提言にもかかわらず、重症度基準の見直しは議論される予定がない。そこで、今後、全ての特定難病患者が医療費から完全に免除されるよう、特定難病患者医療費助成制度について、重症度基準による選別をやめ、軽症者を含めた全ての特定難病患者を対象とするよう、政府関係機関に対し、意見を提出したい。
紹介議員	西山 隆博
付託委員会	難病対策委員会

『軽症』を含むすべての難病患者を助成の対象とするよう求めている請願書

択となった。

今後も「軽症」者を含めたすべての難病患者が費用などの心配なく早期受診できるよう、厚労省の難病法見直しに向けた議論の動向を注視し、支部も今後の市議会への働きかけを強めていく。

「みんなでストップ！負担増」署名にご協力を



協会では、政府が進める医療や介護の患者負担増計画を阻止するために、「みんなでストップ！負担増」署名に取り組んでいます。

75歳以上の患者窓口負担の原則1割から2割への引き上げなどの制度改悪が実施されれば、高い窓口負担を理由に受診抑制が進みかねません。

患者さんにも政府の狙いを知らせ、負担増計画を中止させましょう。

署名の注文などは TEL 078-393-1807 まで

◆支部担当事務局が交代しました。(2020年7月～)

「お世話になりました」 退任：沖野(神戸支部担当へ)、長澤(北播支部担当へ)
「よろしくご指導下さい」 就任：有本(主担当)、都甲 留任：石本

尼崎支部 49回総会のご案内

日時：7月31日(金) 20時～(20分程度)

会場：和樂膳 信之心(阪急武庫之荘駅から徒歩5分)

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、記念講演は行いません。感染対策を徹底したうえで総会議事を開催いたします。

出欠やお問い合わせはTEL 078-393-1817 有本・都甲まで

第556回幹事会だより

6月26日(金) 於：信之心

- 尼崎支部の会員数
6/25現在 医科380人、歯科166人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
新型コロナウイルス感染症に関する政府の対応や医療現場の実態などについて議論した。

- 次回日程
7/31(金) 20:20～ 和樂膳 信之心(阪急武庫之荘駅から徒歩5分)
お問い合わせはTEL 078-393-1817 有本・都甲まで

尼崎支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



TEL 078-393-1817 / FAX 078-393-1802 e-mail arimoto@doc-net.or.jp 担当：有本まで

兵庫県保険医協会のホームページは

<http://www.hhk.jp/>

*生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、生活を支える共済制度のご紹介、日々の協会活動報告を掲載しております。ぜひご覧ください!